



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

令和 8 年度 川崎市予算について

令和 8 年 3 月

2 令和8年度 重点施策 (1) 子ども・教育

小児医療費の助成

7,387,893千円

拡充

【参考】R7: 6,879,208千円 (+508,685千円)

令和8年9月から、助成対象年齢を高校生年代まで拡大するとともに、一部負担金についても廃止することで、子育て世帯の負担感の軽減につなげます。

- ・ 高校生年代まで助成対象年齢を拡大

現在中学校3年生までとしている助成対象年齢を高校生年代まで拡大します。

- ・ 一部負担金の廃止

小学校4年生以上に設けている通院1回あたり500円の一部負担金を廃止します。

(現行制度)

年齢	0歳～小学校3年生	小学校4年生～中学校3年生	高校生年代
助成範囲 (通院)	保険医療費の自己負担分 (未就学児2割 小学生以上の児童3割)	保険医療費の自己負担分で 通院1回あたり500円を超えた額 (調剤は全額助成)	対象外
助成範囲 (入院)		※市民税所得割非課税世帯は 全額助成	



(新制度)

年齢	0歳～小学校3年生	小学校4年生～中学校3年生	高校生年代
助成範囲 (通院・入院)	保険医療費の自己負担分 (未就学児2割・小学生以上の児童3割)		

2 令和8年度 重点施策 (1) 子ども・教育

子どもの放課後等の居場所づくり

87,270千円

① 思春期の居場所づくり

60,210千円

拡充

【参考】R7：49,504千円 (+10,706千円)

- ・各区専門職・地域人材へのヒアリング等による現地調査や既存データの整理、中学生のニーズ調査等により、地域情報等を収集します。
- ・地域人材や中学生との意見交換会を開催します。
- ・居場所づくりのガイドライン策定、利用促進のための手法を検討します。

② 全天候型あそび場の整備

27,060千円

新規

雨の日も暑い日も、木のぬくもり溢れる空間で、子どもが思いっきり体を動かして、夢中になれる全天候型あそび場の整備に向けて、基本的な考え方の検討や整備箇所の選定等を行います。



[注] 本ページのイラストはイメージであり、今後の検討で変更が生じる可能性があります。

2 令和8年度 重点施策 (1) 子ども・教育

児童の健全な成長と自立に向けた支援体制の構築

939,463千円

① 養育環境等に課題を抱える学齢期の児童への支援

39,488千円

新規

養育環境等に課題を抱える学齢期の児童などに対して安全・安心な居場所を提供し、生活習慣の形成支援、学習支援、進路相談、食事提供などを行う「児童育成支援拠点事業」を新たに実施することにより、児童の健全な育成と家庭環境の改善を図ります。

② 社会的養護が必要な児童の自立に向けた支援の強化

899,975千円

拡充

- ・社会的養護が必要な高校生年代以上が入所する自立援助ホームを新たに2施設整備（1施設あたり定員6人）し、4施設での受け入れを目指します。
- ・一時保護所にて児童の学習支援や自立のための対象経費の拡充を図ります。

【参考】R7：800,694千円（+99,281千円）

【参考 市内自立援助ホーム】



建物外観



リビング



居室